

平成 27 年 10 月 28 日

中央教育審議会会長 北山 禎介 様

中央教育審議会委員 尾上 浩一

今回の中央教育審議会総会は所用により欠席させていただきますが、「これから学校教育を担う教職員やチームとしての学校の在り方について」（答申案）の審議が行われるに当たり、以下のとおり書面にて意見を申し述べます。

10 月 26 日の財政制度等審議会財政制度部会において、基礎定数のみならず加配定数も含めて機械的に教職員定数を削減すべきとの意見が、本年 6 月の建議に引き続き出されております。

複雑・困難化する学校現場の実情を無視した無責任な教職員数削減ありきの議論が繰り返し国でなされていることに対し、私たちは極めて憂慮しております。

私の活動主体である公益社団法人日本 PTA 全国協議会としても、青少年の健全育成を願い、全国的な教育水準の維持向上を促進する立場から、教職員定数の削減に反対し、教職員数の増など学校教育環境の充実を強く要望します。

併せて、中央教育審議会としても、財政制度等審議会の意見にきちんと反論していくとともに、教職員定数の改善の必要性について、国民の理解を得られるようメッセージを発信していくことを強く要望します。